

## 平成25年度

### 第6回 倫理・利益相反委員会 会議記録概要

日 時：平成25年9月11日（水） 15:00～17:00
場 所：第一会議室
出席者： 委員長 富永 祐民 委 員 豊嶋 英明、岡村 幹吉、村上 健次、水谷博之、吉野 隆之、 鈴木 隆雄、鳥羽 研二、町屋 晴美
欠席者： 委 員 酒井 一、八谷 寛
出席委員数/全委員数： 9人/11人
審議事項
申請課題数：一部変更申請課題 2件 新規申請課題 10件 合 計 12件
その他審議事項は特になし

#### 申請課題について

No.1	受付番号：632-2 課 題 名：アルツハイマー病患者を対象とした太田ポンカン果皮濃縮エキス含有食品の効果確認試験 申 請 者：遠藤 英俊 審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。 審査結果：承認
No.2	受付番号：650-2 課 題 名：糖尿病患者における血清DPP4と身体状況、血糖コントロール指標および食物摂取状況との関連性についての調査 申 請 者：金子 康彦 審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。 審査結果：承認

No.3	<p>受付番号：667</p> <p>課 題 名：在宅療養高齢者の身体状況等の追跡調査－栄養改善マニュアル作成のための要因の探索－</p> <p>申 請 者：三浦 久幸</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：承認</p>
No.4	<p>受付番号：668</p> <p>課 題 名：高齢者・認知症患者に対するコミュニケーション効果の研究-患者とロボットの対話 W0Z 実験-</p> <p>申 請 者：近藤 和泉</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：承認</p>
No.5	<p>受付番号：669</p> <p>課 題 名：搭乗型生活支援ロボットにおけるリスクアセスメントと安全機構の開発</p> <p>申 請 者：近藤 和泉</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：承認</p>
No.6	<p>受付番号：670</p> <p>課 題 名：健常高齢者の長期縦断疫学研究 (Nagoya Longitudinal Study for Healthy Elderly:NLS-HE)</p> <p>申 請 者：佐竹 昭介</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：承認</p>

No.7	<p>受付番号：671</p> <p>課 題 名： 夜間頻尿を有する女性過活動膀胱患者におけるミラベグロンの有用性と QOL への影響についての検討</p> <p>申 請 者：吉田 正貴</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：条件付承認（修正内容の確認をもって承認とする。） 〈条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究デザインの妥当性を検討すること。</li> <li>・様式1-1 6.の記載にOABの説明（過活動膀胱）を追記すること。</li> <li>・説明書5ページ目 15. 加藤 久美子先生の所属機関名を名古屋第一赤十字病院に修正すること。</li> </ul>
No.8	<p>受付番号：672</p> <p>課 題 名： 在宅療養患者における褥瘡の有病率、褥瘡処置に関するアンケート調査</p> <p>申 請 者：古田 勝経</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：承認</p>
No.9	<p>受付番号：673</p> <p>課 題 名： 転倒予防を目的とした高齢者の動作の速度・正確性による定量的評価に関わる研究―トレッドミル歩行分析を用いたリサージュ図形分析による年齢別健常モデルの開発―</p> <p>申 請 者：尾崎 健一</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：承認</p>
No.10	<p>受付番号：674</p> <p>課 題 名： アートによる高齢者の予防医療、及びアート活用（産業、社会、教育活性化）の基盤作り</p> <p>申 請 者：島田 裕之</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：承認</p>

No.11	<p>受付番号：675</p> <p>課 題 名：在宅医療支援病棟の入院患者の継続的予後調査－主に経年変化に関する検討－</p> <p>申 請 者：三浦 久幸</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：承認</p>
No.12	<p>受付番号：676</p> <p>課 題 名：食品の視覚認知が脳血流量と嚥下機能に与える影響－fNIRS を用いた検討－</p> <p>申 請 者：神谷 正樹</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：条件付承認（修正内容の確認をもって承認とする。）</p> <p>〈条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢患者例を検討する理由と症例数を10例とする理由を記載すること。</li> <li>・ 同意書において、同意項目の記述を被験者から見た文章に修正すること。</li> </ul>